

若年性認知症の人の社会参加活動支援事業

1 事業の目的・概要

若年性認知症の人が住み慣れた地域で、これまでの経験や有する能力を生かし、地域における役割を担いながら、生きがいを持った生活を送れるような、社会参加の機会を創出する仕組みづくりが求められています。

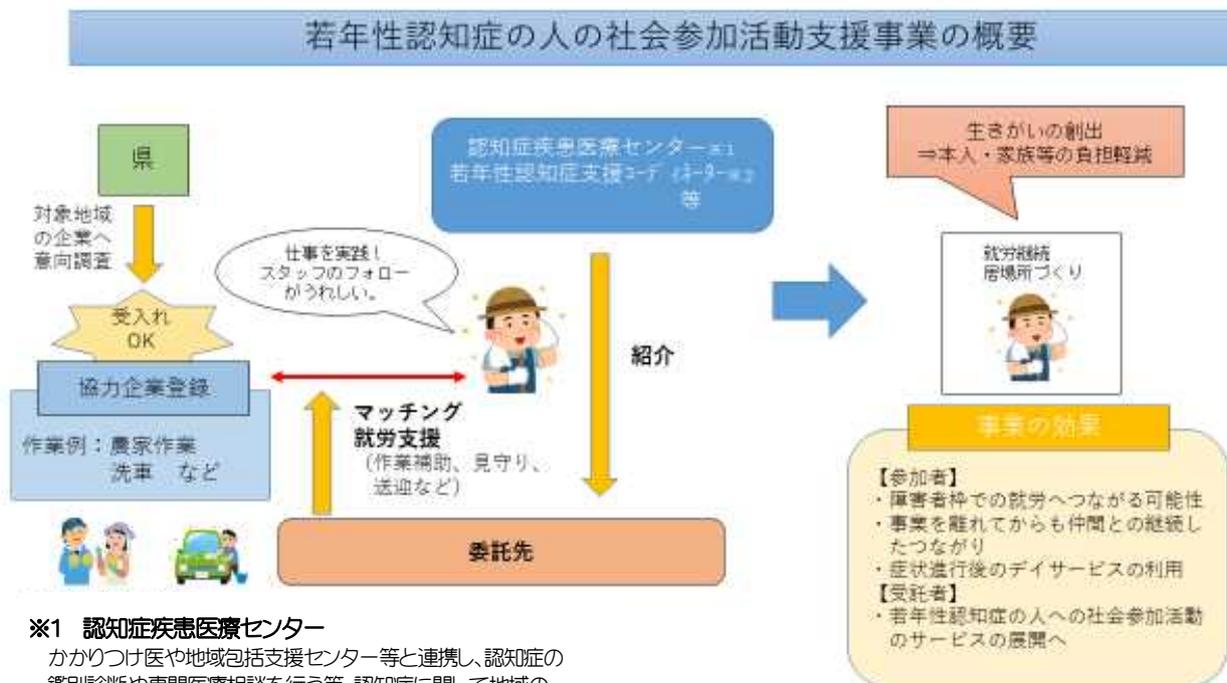
そのため、認知症デイサービス事業所や地域の協力企業等と連携して、本人に適した作業の選定や作業中のサポートなどを行うモデル事業を実施します。

2 事業内容

[委託先] 県内の認知症デイサービス事業所等

[実施方法]

- ・ 県が若年性認知症の人に適した作業についての情報を収集し、協力企業等のリストを作成します。
- ・ 受託事業者が若年性認知症の人や家族の意向を聞きながら、地域の協力企業等とのマッチングや連絡調整を行います。
- ・ 受託事業者は作業現場に同行し、若年性認知症の人をサポートします。
- ・ 報告会の実施や報告書の作成・配布により、取組結果を市町村や事業所等へ広く周知し、県内の実施事業所の増加を図ります。



※1 認知症疾患医療センター

かかりつけ医や地域包括支援センター等と連携し、認知症の鑑別診断や専門医療相談を行う等、認知症に関して地域の中核的な役割を担う医療機関です(県内11カ所)。

※2 若年性認知症支援コーディネーター

若年性認知症の人に関わる様々な相談・支援を行っています。